甚小だより

明日咲くつぼみ

あま市立甚目寺小学校 平成 26 年度 第1号 平成26年 4月15日

平成 26 年度がスタート

4月7日に入学式があり、甚目寺小学校は98名の1年生を迎えました。入学式は、1年生が緊張した表情で6年生に手を引かれて体育館に入場しました。同時に、1年生の手を引く6年生の姿は、大変頼もしく見えました。式の中で、1年生には3つの言葉について話をしました。

- ・名前を呼ばれたら、「はい」という返事を大きな声でしま しょう。
- 「おはようございます」というあいさつを元気よくしましょう。1日はこの言葉からです。
- ・「ありがとうございます」という感謝の心を持ちましょう。 「ありがとうございます」と言える人は、周りの人から 大切にしてもらえます。

この3つの言葉は、人と人とをつなぐ大切な言葉であり、 この3つの言葉が身につくと、いろいろなことがどんどん身 についていくものです。そして大人になってもこの言葉は大 切な言葉なのです。



【入学式を待つ1年生】

4月8日には始業式が行われました。

養護教諭

登校後、児童玄関に掲示された新しいクラスを見て歓声が上がっていました。新学年への期待感の表れです。始業式の前に着任式が行われました。新しく甚目寺小学校に着任した 13 名の先生の紹介とあいさつがありました。

始業式では、各学年で新しく始まる学習や活動の一部を紹介しました。子どもたちの期待感とやる気が伝わってきました。その上で、甚目寺小学校の学校目標について話をしました。『善く生きる子』です。どうすることが『善く生きる』ことになるのでしょうか。入学式で1年生に話した3つの言葉は、この目標の土台となるものだと思います。ひとりひとりがそれぞれの学年の立場で考えて行動し、その答えを見つけ、1年後に自分が取り組んだことを、胸を張って人に言えるようになってほしいと思います。1年間よろしくお願いします。

各学年の担任および養護教諭は以下のとおりです。

池畑真理子

合字中の担任わより食護教訓は以下のとおりです。 				
	1組	2組	3組	4組
1年	奥井 宏弥	金川 彩織	近藤 典子	
2年	大鹿 智子	尾﨑とみ子	松尾美予子	山下 和美
3年	中西浩之	籏 大貴	原野 祥子	
4年	川口 康則	加藤 健太	宮碕 正枝	
5年	吉田ときみ	村瀬 太一	秋田 侑子	
6年	松田真利子	副田 亜紀	西川建也	
たんぽぽ	浅野 由佳 北岡 順子	湯澤 葉子	小見山恵子	副担任 殿畑 典子
きらり	安藤 圭子			
	I <u> </u>			

平成 26 年度の甚目寺小学校は、全校児童数 642 名、職員数 43 名、合計 685 名です。



【始業式 担任発表】

始業式に続いて、対面式が行われました。児童会役員の歓迎の言葉に合わせて、1年生と2~6年生がお互いに大きな声で「よろしくお願いします」とあいさつをすることができました。力強く、そして温かく1年がスタートできたと思いました。



【対面式 児童会歓迎の言葉】

甚小だよりに名前をつけました

『明日咲くつぼみ』です。

2年生以上の人は、アサガオの花を育てた経験があると思います。芽が出てつるが伸び、つぼみが ふくらんでいきます。つぼみを見ていると「もうすぐ咲くんだ」というわくわくした気持ちになりま す。まさに『明日咲くつぼみ』です。

また、少しむずかしい話になりますが、毎日の生活は、楽しいことばかりではありません。失敗もあります。ときには歯を食いしばってがんばらなければならないこともあります。『明日咲くつぼみ』という言葉には、明日への期待感とともに、どんなに苦しいときにも「やがて花を咲かせる芽やつぼみ」をだれもが持っているという意味があります。いろいろなところに『明日咲くつぼみ』はあるのです。そして、『明日咲くつぼみ』を子どもたちに持たせたいものです。

【お知らせ】

■PTA総会

4月24日(木)は、授業公開(13:10~)・全校合唱(14:10~)・PTA総会(15:15~)・学級 懇談会等(15:20~)があります。詳しくは4/9付けの案内をご覧ください。

【お願い】

学校へお越しの際は、徒歩か自転車でお出かけください。たくさんの方々にご協力をいただいております。※学校の東側、西側の道路は、時間帯によって歩行者専用道路となっています。 (通学路のため)

つぶやき

東に甚目寺観音の森と三重の塔の相輪(そうりん)、子どもたちが帰った後の校内を歩けば聞こえてくる電車の音と木々の間を吹き抜ける風の音。何か絵になるような景色のある甚目寺小学校。ふと甚目寺の由来について調べてみました。

. . .

文永元年(1264年)の古縁起によると、「推古天皇5年(597)、伊勢の甚目龍麻呂(はだめのたつまろ)という漁師が、海中より紫金の聖観音菩薩像を網にかけたため、近くに一草堂を建て、甚目寺と名付けてそれをお祭りした」伝えられています。古代の尾張氏の一派の豪族であった甚目連(はだめのむらじ)が甚目寺を建立したと考えられます。甚目寺は尾張の古代寺院の中で最古の部類に入るといわれます。

(黒田剛司 著「これでわかる海部の歴史」より)

甚小キャラクター 「じんちゃん」